

令和7年度 清瀬市立清瀬第三中学校 学校図書館経営方針

清瀬市立清瀬第三中学校図書館長

井 上 隆

1 学校の教育目標

人間尊重の精神を基盤とし希望にみちた社会をめざす健康で明るく知性ある人間を育成する

- 思いやりのある生徒 ○ 主体的に学び行動する生徒 ○ 協力する生徒
- 思考力の育成 →行動力の育成 →人間力（じんかん）の育成

2 めざす学校図書館像

生徒の成長に併せた読書体験により、豊かな心を育むとともに、一人一人の課題解決に向けた情報の探索及び選択能力を育てることができる学校図書館

そのために生徒が落ち着いて読書・調べ学習を行うことができる、安らぎのある環境や知的好奇心を醸成する開かれた「学びの場」としての環境を整えていく。

3 学校図書館経営の基本方針

読書センターと学習・情報センターの機能を併せもつ学校図書館

〈読書センター〉

- ・さまざまなジャンルの本に興味をもたせるために、蔵書の充実を図る。
- ・広く豊かな読書体験ができる場所としての整備に努める。

〈学習・情報センター〉

各教科を深く学ぶために必要な正確で豊富な情報を得られる学校図書館

4 特色ある取組の推進

◇学校図書館を活用しての読書活動の推進

- ・生徒の読書への関心を高めるために学校行事やその時々社会の話題に合わせた展示やコーナー作成
- ・各教科に必要な参考図書をブックトラックにまとめ館外貸出し
- ・多読書（ベストリーディング賞）の表彰
- ・ビブリオフォーラム、調べる学習コンクール等への参加
- ・図書給食の実施

◇図書委員会による読書活動の推進

- ・委員会主催による全校生徒に向けた活動「読書の木」「お勧め本紹介」「読書週間」

5 学校図書館運営

【重点1】◎学習指導要領に則し、各教科の目標に合わせた意図的・計画的な利活用

◎校内組織を中心とした円滑な運営と、生徒が主体的に関われる機会の創出

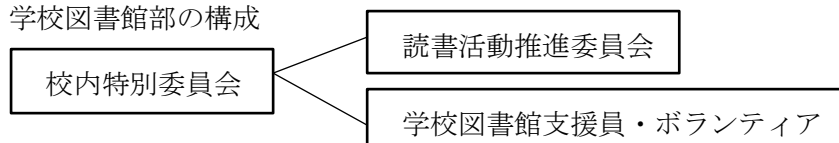
◎施設・設備、予算、人員等の多角的な視点での運営

【重点2】◎昼休みと下校時の開館を目指し、生徒や教職員の最大限の利活用及び生徒の居場所として利活用

◎地域人材・ボランティアを活用した運営の拡充

◎図書委員会等の学校図書館運営に主体的に関わらせる取り組みの充実

6 学校図書館部の構成



7 年間活動計画

別紙参照

8 その他

◇毎月の企画・展示

(例) 4月:「ようこそ本の森へ」

5月:「I Love 部活」(部活動開始)

9月:「心のおくすり処方します」(命の週間)

10月:「音を楽しむ」(合唱コンクール)

◇ミニコーナー設置

(例) 4月:「正しく知って、正しく怖がる」(コロナ感染症関連本)

7月:「俳句を知ろう」(俳句教室)

9月:「防災に関するコーナー」など

10月:図書給食の掲示

◇図書館クイズ

図書館の本を使って答えを導き出そう。参加者には図書委員作成のオリジナルしおりをプレゼント

◇学校図書館貸出冊数の推移

年度	生徒数(人)	年間貸出冊数(冊)	平均貸出冊数(冊/人)
H30	323	1,348	4.2
H31	339	1,746	5.2
R2	303	1,238	4.1
R3	315	740	2.3
R4	310	1,287	4.2
R5	353	1,558	4.4
R6	365	1,981	5.4